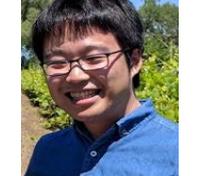
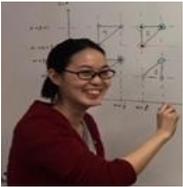


Funai Overseas Scholarship 交流会 in Los Angeles (Jul.27-Jul.30, 2018)

(年度毎五十音順 敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2009	岩井孝介 イワイ コウスケ		Sandia National Laboratories / Joint BioEnergy Institute (University of California, Berkeley Ph.D.)	Droplet Microfluidics for Synthetic Biology	気がついたらベイエリアに来てから早9年が経ってしまいました。UC BerkeleyでPhDを取得後、現在は国立研究所でポスドク研究員をしています。アメリカの生活における諸々の相談事には(おそらく普通の人よりは)乗れると思うので、気軽に聞いて下さい。特に新しい人々とも話せたら嬉しいなあ、と。
2011	岡本尚也 オカモト ナオヤ		一般社団法人Glocal Academy 代表理事 (University of Cambridge Ph.D.)	スピントロニクス, 教育社会学	4年ぶりの交流会参加となります。短い期間ですが、皆様と意見交換ができます事を楽しみにしております。
2012	荒木 淳 アライ ジュン		Bosch Research (Carnegie Mellon University Ph.D.)	自然言語処理、機械学習、知識表現と推論	今年の5月末にカーネギーメロン大学(CMU)で博士論文のディフェンスを終えました。この7月にシリコンバレー(Sunnyvale, CA)にある Bosch Research の Senior Research Scientist に就任しました。CMU の前に所属していたスタンフォード大学の修士課程時代を懐かしみながら、シリコンバレーでの生活を再開しました。一日のみの参加になりますが、楽しみにしています。
2012	潮田 佑 ウシオダ ユウ		Department of Economics, The University of Chicago	Price Endings and Limited Attention	博論を仕上げるのに苦勞していますが、たくさんの方と心踊る話をできるのを楽しみにしています。
2012	長野光希 ナガノ コウキ		Pinscreen, Inc., / USC Institute for Creative Technologies (University of Southern California Ph.D.)	デジタルアバター	2017年に卒業後、知り合いの教授が立ち上げたスタートアップと大学の研究室で働いています。交流会楽しみにしています。
2012	西田祐木 ニシダ ユウキ		Capio, Inc. (Carnegie Mellon University MS)	Dev-ops、音声認識データ用のインフラ構築	毎年この交流会に参加させてもらいありがとうございます。参加する人の数と分野の幅が増えているのでとても楽しみにしています！

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2012	畠山大輝 ハタケヤマ タイキ		Applied Materials, Inc. (University of California, Berkeley Ph.D.)	プラズマエッチング装置の開発	昨年UC BerkeleyでPhD取得後、biosensorのstartupに就職しましたが、現在は半導体製造装置会社で働いています。
2012	山田倫大 ヤマダ ノリヒロ		Quantum Group, University of Oxford (Ph.D.)	Foundations of Mathematics, Theory of (Higher-Order) Computation, Homotopy Type Theory (or the Relation between, Logic, Categories and Topology)	数学の新しい基礎の確立や、論理学・圏論・トポロジーの関連の解明を目指しています。十代はサッカーに夢中だったこともあり、現在W杯から大きな勇気と感動、及び刺激を受けています。交流会でも皆さんから大いに刺激を受け、学びたいと考えています。どうぞよろしく願い致します。
2013	大滝謙太 オオタキ ケンタ		Hawaii Institute of Geophysics and Planetology, University of Hawaii at Manoa (University of California, Irvine Ph.D.)	Characterization of extraterrestrial materials utilizing electron microscopy	Now I'm in Hawaii working on NASA projects. It sounds like a dream and it feels like a dream.
2013	重本祐樹 シゲモト ユウキ		Lecturer in Marketing, Faculty of Contemporary Society, Toyama University of International Studies (University of Cambridge Ph.D.)	Consumer perception of designer intent, Design-driven innovation, Sociocultural influence on production and consumption	LAの美味しいもの情報募集してます。よろしくお願ひします。」
2013	篠原 肇 シノハラ ハジメ		University of Cambridge (Ph.D.)	Doping Studies of Quantum Frustrated Magnets	PhDを取得して得たものは、“Mr”と呼ばれたときに、“...Doctor?”と多少申し訳なさそうに、言い直しを節に願っているようなふりをするという、トリッキーなジョークをかますことができるようになったこと。
2013	曾根 彬 ソネ アキラ		Department of Nuclear Science and Engineering, Massachusetts Institute of Technology	Quantum system identification / Quantum Metrology / Quantum Thermodynamics	皆さんとの交流を通じてまた視野が広がると思うととてもワクワクします。どうぞよろしくお願ひします。
2013	前田一輝 マエダ カズキ		Department of Mechanical Engineering, University of Washington (California Institute of Technology Ph.D.)	流体力学、高性能計算、収束超音波医療	

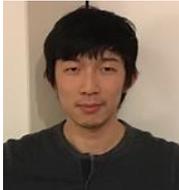
年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2014	五十嵐歩美 イガラシ アユミ		Kyushu University (University of Oxford Ph.D.)	Algorithmic Game Theory	みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！ 2018年3月にオックスフォード大学でPhD(Computer Science)を取得して、現在九州大学で学振特別研究員をしています。出張が多い日常です。2018年12月に母校の筑波大学で留学説明会を行う予定です。もしご登壇いただける方いらっしゃいましたらぜひ。。。
2014	岡本一秀 オカモト カスヒデ		Aerospace Engineering, Georgia Institute of Technology	Optimal Covariance Steering for Stochastic Systems	今夏はインターンをせずに修羅の国に引きこもりです。シャバの空気が恋しいです。
2014	勝谷郁也 カツタニ フミヤ		Department of Electrical and Computer Engineering, Rice University	低次元物質における高磁場分光、 配向カーボンナノチューブの分光	テキサスにお越しの際はぜひご連絡を！
2014	金石大佑 カネイシ ダイスケ		Department of Mechanical Engineering, University of California, Berkeley	Exoskeleton(ウェアラブルロボット) の制御	異なる研究分野の方々とお話できることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。
2014	下 英恵 シモ ハナエ		Department of Biochemistry, University of Cambridge	細胞骨格形成機構の探求	早く博論と就活を終えたいです！
2014	田中秀宣 タナカ ヒデノリ		Stanford University (Harvard University Ph.D.)	Theoretical Physics of Living Systems	
2014	南出将志 ミナミデ マサシ		NASA Jet Propulsion Laboratory (Pennsylvania State University Ph.D.)	台風の予測可能性と衛星観測データ の活用、台風の力学	NASAでポスドクはじめました。数名から確認されたのですが、交流会のためにLAに居を移したというわけではありません。

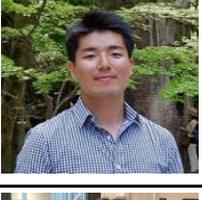
年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2015	青木俊介 アオキ シュンスケ		Electrical & Computer Engineering, Carnegie Mellon University	自動運転車の開発	なぜロサンゼルスに進学しなかったのか。なぜピッツバーグを選んでしまったのか。そんな自問自答を続けて早3年です。
2015	荒川智洋 アラカワ トモヒロ		School of Electrical and Computer Engineering, Purdue University	Simultaneous Wireless Information and Power Transfer	無線通信や無線電力伝送, 周波数利用効率の向上などの研究をしています。ロサンゼルスで皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。
2015	鶴飼貴也 ウカイ タカヤ		Aeronautics and Astronautics, Massachusetts Institute of Technology	Apprenticeship Temporal Planning for Autonomous Agents	機械学習好きな人、ファッション好きな人、ぜひいっぱいお話ししましょう~(´ω`*)♡
2015	種田修三 オイタ シュウゾウ		School of Plant Sciences, Plant Pathology, University of Arizona	植物の防御物質と植物内生菌の多 様性及び群集構造の関係	空き巣被害に遭いました。テレビは無事で、5年以上使っている競泳用水着と水着用のインナーが取られました。怖いです。
	苅田 譲 カンダ ユズル		The Scripps Research Institute	Two-Phase Synthesis of Taxol	最近自分を慰めるためにレゴテクニック買ったんですけどめっちゃ良さが深いです
2015	久門智祐 クモン トモヒロ		University of Pennsylvania	Non-Mendelian Segregation and Centromere Evolution	初LAです。皆さんに会うのを楽しみにしています。
2015	小林雄貴 コバヤシ ユウキ		University of California, Berkeley	アト秒分子分光	LAはテーマパークが充実して好きです。去年の独立記念日にはユニバとディズニーを回りました。天気は良いし、メキシコ料理もおいしいし。さすがはカリフォルニア第二の都市ですね。

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2015	田口厚志 タグチ アツシ		Dept. of Microbiology and Immunobiology, Harvard Medical School	レンサ球菌の細胞壁合成の仕組み	
2015	武田航平 タケダ コウヘイ		Economics Department/ Centre for Economic Performance, London School of Economics	Spatial Economics / International Trade / Urban Economics	久しぶりの西海岸です。ロサンゼルス太陽、楽しみにしています。
2015	釣巻瑠一郎 ツリマキ ヨウイチロウ		MechE, Massachusetts Institute of Technology	Heat transfer, Plasmonics, Photonics	LAにははじめて行きます。週末だけですが、色々と街を見てみたいです。一年ぶりに皆さんにお会いするのが楽しみです。
2015	早坂 丈 ハヤサカ タケン		Department of Mechanical Engineering, University of California, Berkeley	グラフェンガスセンサー	初めてのロサンゼルスなので楽しみです。PhD生活前半は卒業要件を一刻も早く満たしたいという気持ちで頭が一杯でしたが、いざ後半に差しかかると既に名残惜しさを感じ始めている今日この頃です。
2015	深見 証也 フカミ マサヤ		Institute for Molecular Engineering, University of Chicago	凝縮系物理、量子情報	みなさんとお話するのを楽しみにしています。毎年良い刺激になります。
2015	塩出晴海 シオデ ハルウミ		Nature, Inc. CEO (Harvard Business School M.B.A.)	IoT家電を起点として電力事業の新領域を切り開く	みなさんの研究活動の話を聞いて刺激を受けられればと思い参加させていただくことに致しました。楽しみにしています！

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2016	今里和樹 イマサト カスキ		Materials Science and Engineering, Northwestern University	Mg-based thermoelectric materials	LAは去年に続き2度目ですが、今回もおいしいビールを楽しみにしています！
2016	苅田裕也 カクタ ユウヤ		Biophysics Graduate Group, University of California, Berkeley	Ecological and evolutionary dynamics of microbial populations	Qual を何とか通過した代償に肥えました。
2016	塩田佳代子 シオダ カヨコ		Department of Epidemiology of Microbial Diseases, Yale University	数理モデルを用いた感染症動態の 解析(肺炎球菌やロタウイルスのワ クチン効果の評価など)。	みなさんにLAで会えるのをととても楽しみにしておりますが、参加の可否はアメリカ領事館の采配にかかっております…いなかったら察してください。
2016	武田悠作 タケダ ユウサク		Harvard Business School, Harvard University	社会認知的観点からみたイノベー ションの阻害・促進要素メカニズム の理論化と実証	最近qualifying examを突破しPhD Candidateに昇格しました！オフィスも吹き抜けになり、アップグレードされた感にうきうきしています。
2016	谷川洋介 タニガワ ヨウスケ		Biomedical Informatics Ph.D. program, Stanford University	ゲノム変異が疾患リスクに与える影 響の網羅的解析	留学3年目がまもなく始まるということで、月日の速さを感じます。最近のセールでKindle を買い、日本語のインプットを増やすようにしました。おすすめの本があれば教えてください。
2016	田主 陽 タヌシ アキラ		Department of Chemistry, Massachusetts Institute of Technology	Metal-ligand cooperation based on nontrigonal phosphorus ligand	紛らわしい写真ですがMIT所属です。夏のロサンゼルスがとても楽しみです！大谷選手が交流会までに復帰しますように…！

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2016	鄭麗嘉 テイ レイカ		Chemistry and Chemical Biology, Cornell University	タンパク工学を利用した細胞膜修飾	Qualifying examが始まってから3時間半で飛行機に乗る突貫スケジュールで参加します。炎上次第では飛行機を逃すかもしれませんが、順調にいけば1日目の夕食会後から参加できる予定なので、皆さんにまたお会いできるのをとても楽しみにしております。初めてお会いする方もどうぞよろしくお願いいたします。
2016	村上和也 ムラカミ カスヤ		Department of Mechanical Engineering, University of Michigan	粘弾性体中のキャビテーション気泡力学	流体力学を記述する微分方程式の近似解をコンピューターを使って求めています。自作PCを始めました。
2016	吉永宏佑 ヨシナガ コウスケ		Department of Chemistry, Massachusetts Institute of Technology	フルオロカーボンに可溶性蛍光分子の合成およびその応用	先日晴れてPh.D. Candidateになりました。前回の交流会は地元開催で旅を満喫できなかった分、今回の交流会への期待度が非常に高くなっています。
2017	大谷直樹 オオタニ ナオキ		Language Technologies Institute, School of Computer Science, Carnegie Mellon University	自然言語処理 (natural language processing) をリソースの少ない言語 (アフリカのマイナー言語など) に適用するための方法の研究	妻が2月からピッツバーグに住み始めてQOLが爆上がりしました。
2017	古賀祐海 コガ ユウミ		Department of Chemistry & Chemical Biology, Harvard University	高感度ribosome profilingの開発	昨年末に所属研究室が決まりました。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！
2017	塚本紘康 ツカモト ヒロヤス		Department of Aerospace (GALCIT), California Institute of Technology	非線形・確率的ダイナミクスに対する制御器設計とその宇宙システムへの応用 宇宙機シミュレーターの制御器設計	LAに来てから1年がたちやっここでの生活に慣れてきました。挫けそうな心を何度もLAの青空が救ってくれました。 PhDを生き抜く皆さんの自炊術についてお伺いしたいです！

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2017	辻 琴音 ツジ コネ		Brown University (学部生)		やっと二十歳になったと思ったらアメリカではまだ微妙な年齢です。フランス語の勉強に今はまっています。初西海岸と皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！
2017	林 佑明 ハヤシ ヒロアキ		Carnegie Mellon University	自然言語処理、特に長期の文脈情報の抽出と利用に興味があります。	初参加です、よろしくお願いします。筋トレ初心者なので、コツや正しいフォームを知っている方がいましたら、ぜひ教えてください。
2017	馬淵祐太 マブチ ユウタ		Department of Neurobiology and Behavior, Cornell University	ショウジョウバエにおける攻撃・求愛行動を制御する神経メカニズム	大学以外に本当に何も無い片田舎のイサカから参加させていただきます。LAで久しぶりにまともな日本食を食べられるのが楽しみです。
2018	石田 秀 イシダ シュウ		University of Oxford(学部生)	ロボットの経路計画の最適化、機械学習、ソフトウェア、制御	テクノロジーを教育やメンタルヘルスケア、格差の縮小およびメディアリテラシーに活かすことに強い関心があります。ハリーポッターが好きなので撮影場所になったカレッジを希望しました。ピアノ、ミュージカル、ウェブデザインが好きです！
2018	大岸誠人		The Rockefeller University	小児重症感染症の原因となる免疫学的異常の解明	医者でバイオ系人種ですが機械学習とか感染症数理とかにも手を出しているので専門にやってる方いれば教えてください！あと、NYCは物価がとて高いらしいので、先輩方には生活の知恵などぜひお伺いしたく…笑
2018	笠井淳吾 カサイ ジュンゴ		Department of Computer Science and Engineering, University of Washington	統計学的自然言語処理とディープラーニング	夏休みは、IBM Research-Almadenでインターンしています。これからの西海岸での生活が楽しみです。

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2018	佐藤わかな サトウ ワカナ		College of biological science, University of Minnesota Twin Cities	(学士)植物由来高分子ポリフェノールの構造と α -アミラーゼ阻害活性の関係 大学院でのテーマはまだ決まっていますが、遺伝子発現制御機構に関する研究に興味があります。	趣味はテニスですが、最近はあまりできずに運動不足なので、アメリカに行ってからまた始めたいです。大学、研究、日常生活についてなどいろいろ教えていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします！
2018	白井有樹 シライ ユウキ		Department of Mechanical and Aerospace Engineering, University of California, Los Angeles	未定ですが、恐らく火星や災害現場での崖登りロボットの開発・制御になる予定です。	はじめまして！研究も、アメリカでの生活も慣れておりません。先輩方から色々吸収出来れば嬉しいです。趣味は野球観戦や日本食を食べることです。
2018	山口光史郎 ヤマグチ コウシロウ		Department of Aeronautics and Astronautics, University of Washington	折り紙構造物に関する研究	交流会に参加させていただくのが初めてです。皆様にお会いできることを楽しみにしております。7月からシアトルに渡り、研究をスタートさせていただいています。構造解析や機械学習といった分野に興味があります。
2018	山田祐太郎 ヤマダ ユウタロウ		Department of Statistics, Yale University	feature selection, adversarial examples	初めてのLAなのでとても楽しみです。

【ご招待者】

中村 修二 様	カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授、2014年ノーベル物理学賞受賞者
---------	--------------------------------------

【財団関係者】

益田隆司	マスタ ヲシ	船井情報科学振興財団副理事長兼業務執行理事
船井 顯	フナイ アキラ	船井情報科学振興財団理事
金子美穂	カネコ ミホ	船井情報科学振興財団奨学事業(学部留学)選考委員 (Yale University Ph.D.)
橋本道尚	ハシモト ミチナオ	船井情報科学振興財団奨学事業(学部留学)選考委員 (Harvard University Ph.D.)
近藤幹子	コンドウ ミキコ	船井情報科学振興財団事務局
斉藤慶子	サイトウ ケイコ	船井情報科学振興財団事務局